



綿屋（ここは東御市）



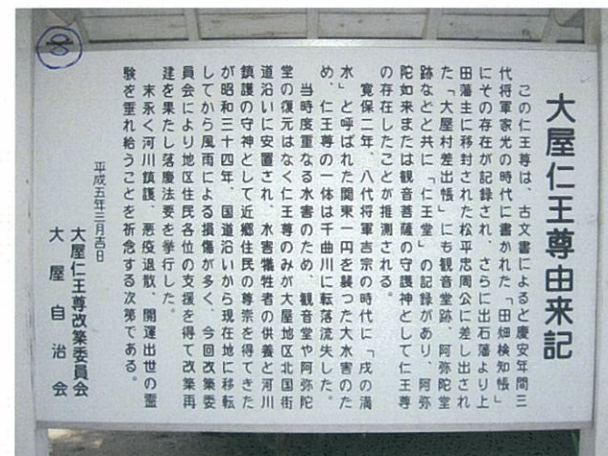
市境（幅違う）



大屋駅前の石碑



御堂澤橋



大屋仁王尊由来記

この仁王尊は、古文書によると慶安年間三代將軍家光の時代に書かれた「田畑検知帳」にその存在が記録され、さらに出土層より上田藩主に移封された松平忠周公に差し出された「大屋村差出帳」にも観音堂跡、阿弥陀堂跡などと共に、「仁王尊」の記録があり、阿弥陀如來または観音菩薩の守護神として仁王尊の存在したことが推測される。

寛保二年、八代將軍吉宗の時代に「戌の満水」と呼ばれた関東一円を襲った大水害のため、仁王尊の一体は千曲川に転落流失した。当時度重なる水害のため、観音堂や阿弥陀堂の復元はなく仁王尊のみが大屋地区北国街道沿いに安置され、水害犠牲者の供養と河川鎮護の守神として近郷住民の尊崇を得てきたが昭和三十四年、国道沿いから現在地に移動してから風雨による損傷が多く、今回改築委員会により地区住民各位の支援を得て改築再建を果たし落慶法要を挙行了した。

末永く河川鎮護、悪疫退散、開運出世の靈験を霊れ給うことを祈念する次第である。

平成五年三月吉日
大屋仁王尊改築委員会
大屋自治会



集合場所



謎の石



細い小路



幅30cmの水路



双葉荘



矢島邸

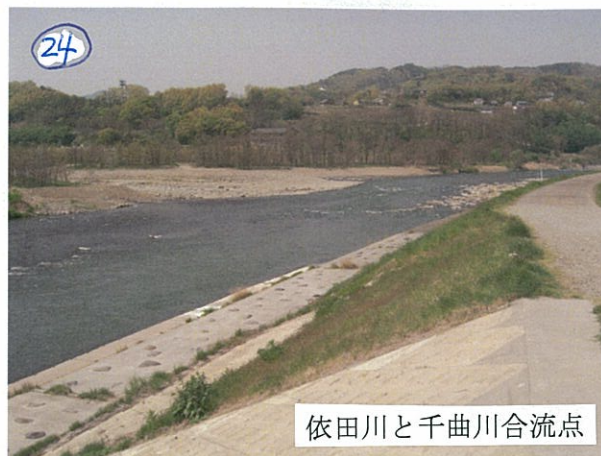
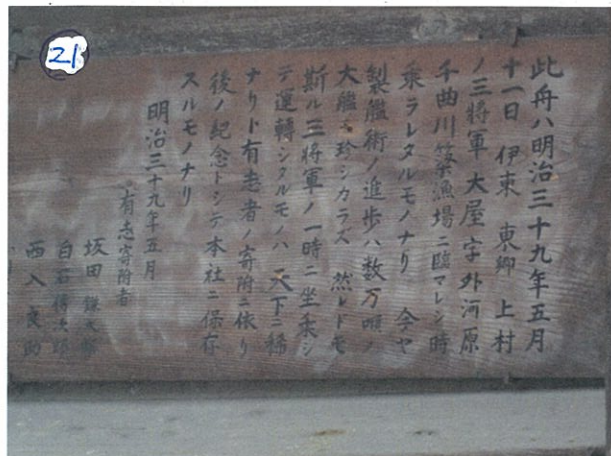


千曲川上流を望む



変則道路





依田川と千曲川合流点



瀬沢橋



三將軍同乗の船

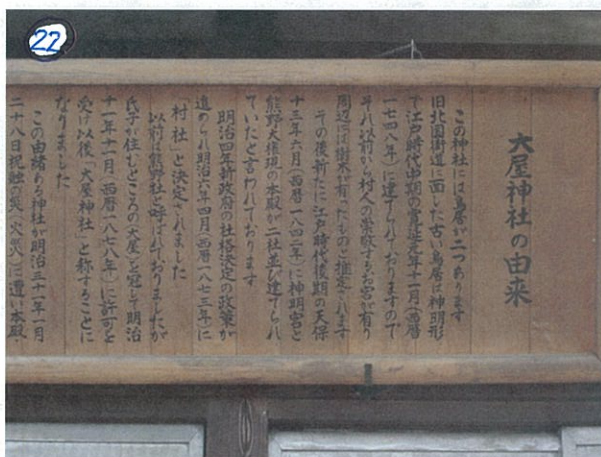
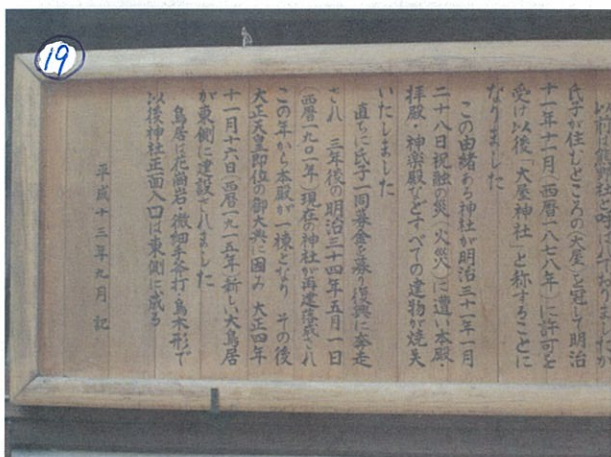
大屋神社



大石橋



白石邸



大屋神社の由来



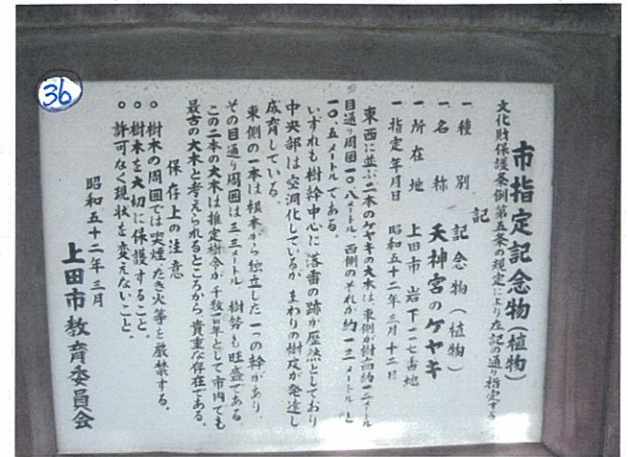
夫婦道祖神



北国街道脇水路



卯建



旧道への入口



海野格子



海野格子



しなの鉄道下のアーチ橋 (瀬沢川)



太田邸





世堂観音



湧き水



格子



けやき大木



大屋方面



天神様



無量庵



湧き水



伊波保神社本殿の彫刻



太鼓岩



神川小



夫婦道祖神



火の見半島



神川小前



伊波保神社



鳥居



吊り橋跡



ハープ橋下



側溝も整備済



堀川神社



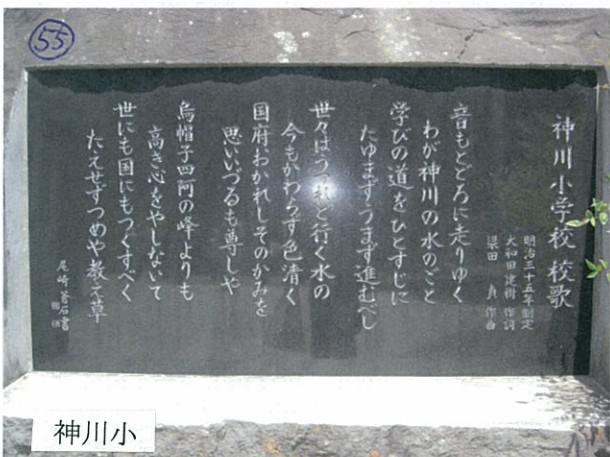
取水口



柳沢邸



蚕影神社



神川小



山浦邸



東山道があった道



山辺糀店



埋もれた石標



堀川神社本殿



山辺糀店



埋もれた石標



堀川神社



糀店中の倉



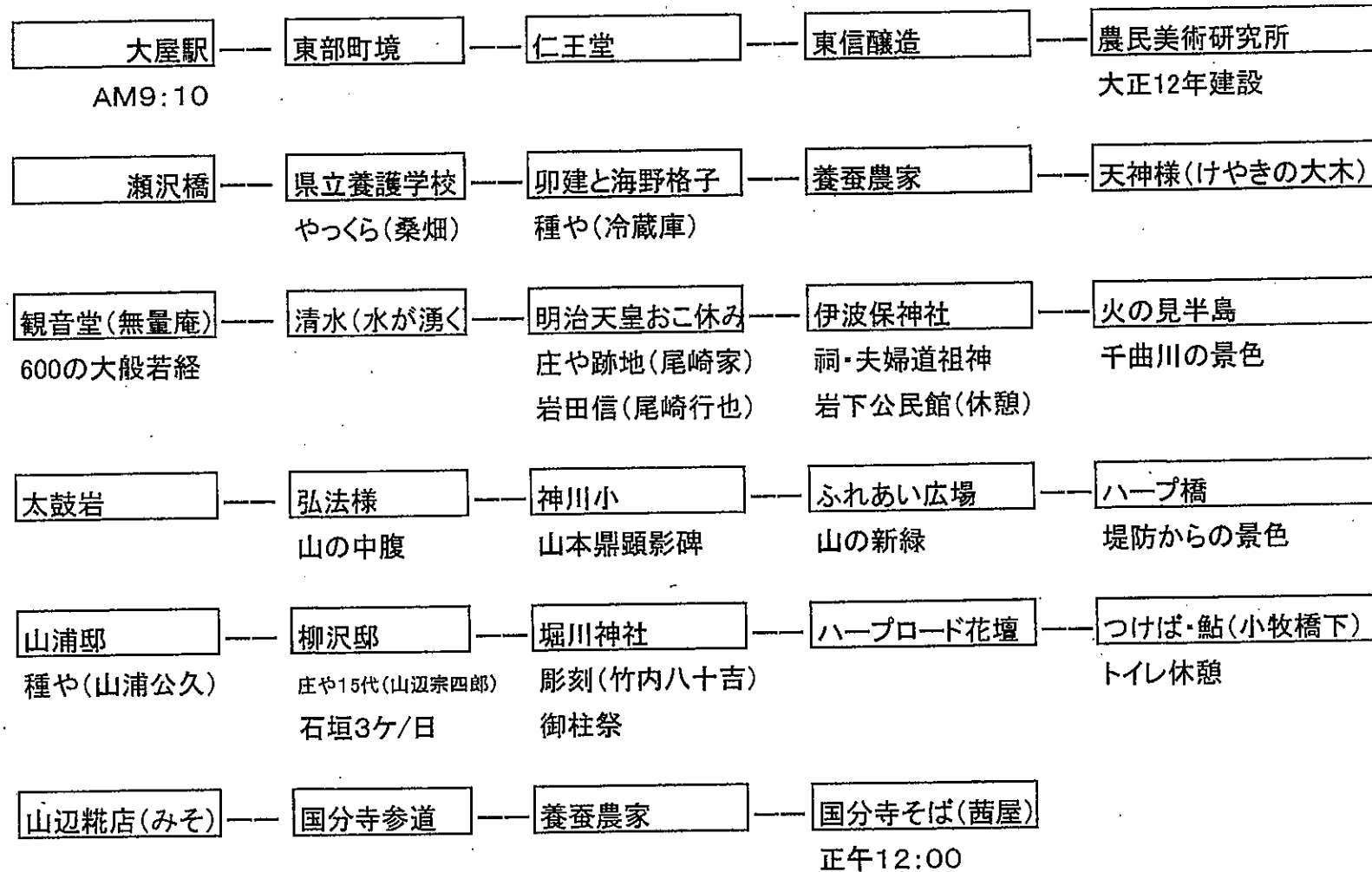
池田邸

歴史的資源を保全・活用した町づくり

北国街道ウォーキング

平成21年5月2日

中央地域協議会第1分科会



岩下・史跡図

平成21年3月30日・サークル岩下今昔



- ①馬頭觀音・道祖神

- ②山本 鼎・碑

- ### ③道祖神

- ④天王 (小字)

- ### ⑤石像·石碑群

- ⑥明治天皇・岩下御小休所跡

- ⑦仁和寺宮嘉彰親王御遺跡

- ⑧回り水跡

- ⑨渡し船（岩下⇄なし平・茂沢）

- ⑩旧岩下集会所・明治「岩下村外5ヶ村戸長役場」飯田弘宅

- ⑪一里塚跡 (江戸より45番目の一里塚)

- ⑫冷蔵庫・氷を使い蚕種を保存、

- ⑬卯建と海野格子

- ### ⑭蠶卵供養塔

- ⑮歩桑 (やっくら・石垣跡) 川原の開墾

- ⑩伊勢宮跡

- ⑪川原町・亥の満水で12軒流された

- ⑱氷り作り跡・岩下の冷蔵庫に運んだ

- ⑬上田 進 (尾崎義一・ロシア文学者)

- 小田 英（農民詩人）尾崎英次

- ⑳ようぞう穴(岩下) 次郎穴(下青木)